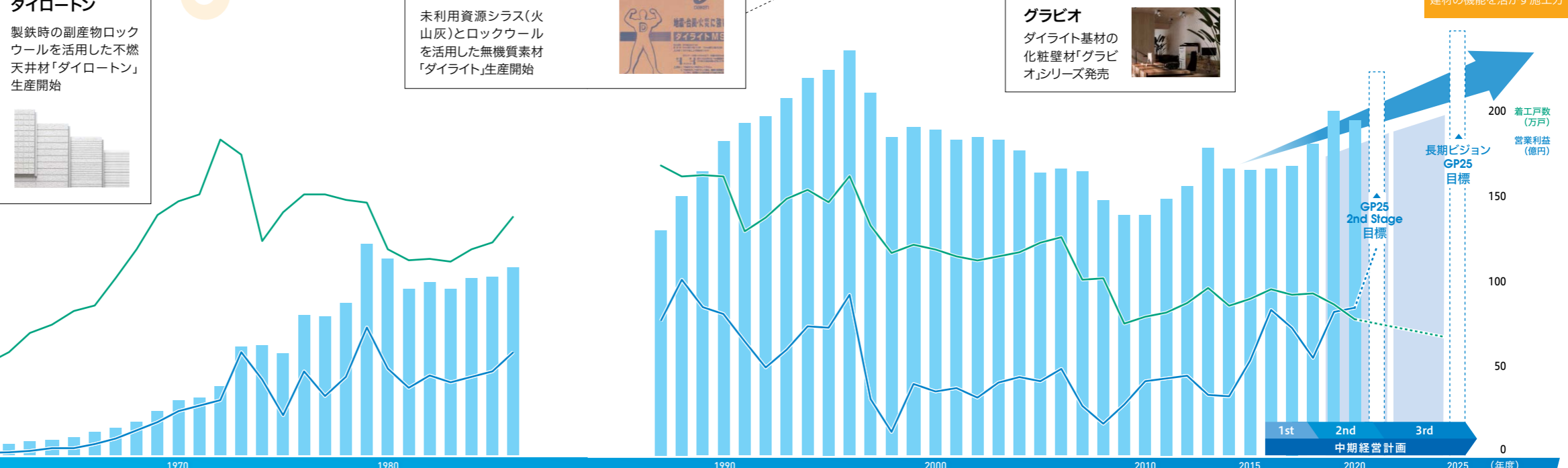
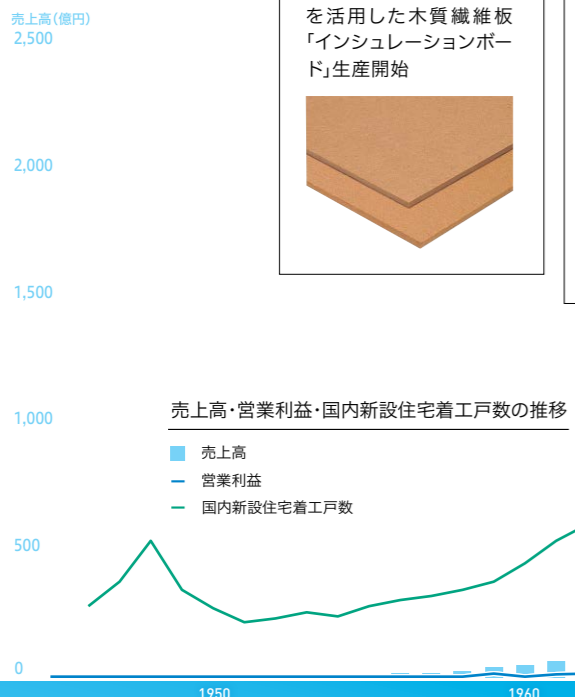
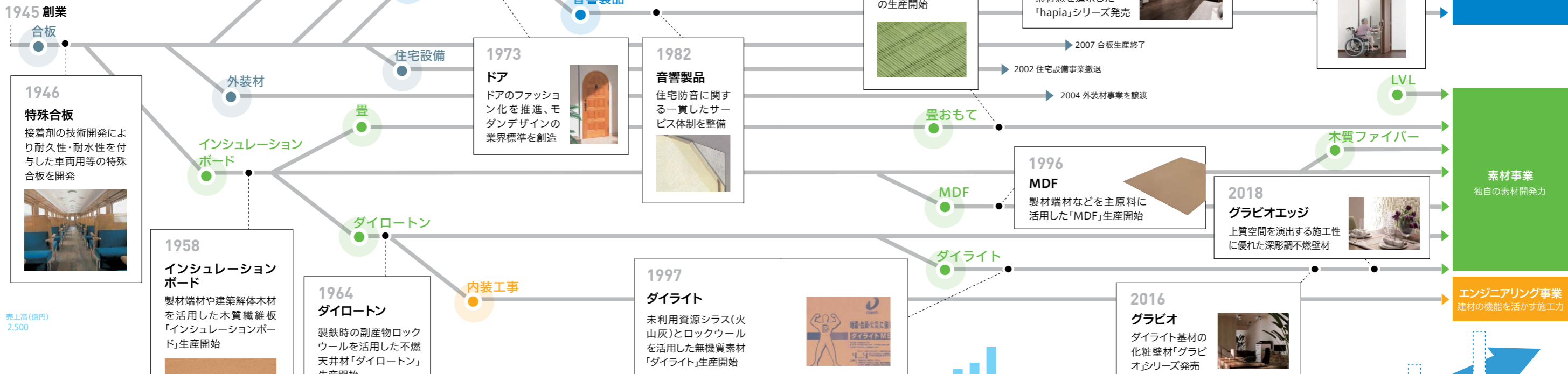


大建工業グループの歩み

大建工業グループは、創業以来、常に社会課題やニーズに応えるため、技術革新を重ね、暮らしに役立つさまざまな製品を開発してきました。これまでの歴史で積み重ねてきた強みを活かし、「住宅用建材のメーカー」から「建築資材の総合企業」へ、新たな価値を創出する企業への成長を目指します。



創業期	拡大期	飛躍期	選択と集中期	新挑戦期	長期ビジョン「GP25」実現への挑戦
1941 伊藤忠商事(株)、榎丸紅商店、榎岸本商店の3社が合併し「三興(株)」設立 1944 三興(株)、呉羽紡績(株)、大同貿易(株)の3社が合併し「大建産業(株)」設立 1945 大建産業(株)林業部の全事業を継承し、富山県井波工場にて「大建木材工業(株)」として創業	1954 特殊合板の製造を目的とした名古屋工場を新設 1958 岡山工場を新設「インシュレーションボード」の生産開始	1967 「大建工業株式会社」に社名変更 1969 内装工事等を手掛ける工務部を設置 1970 ●名古屋工場で「WPC床材」の生産開始 ●特殊合板の製造を目的とした富山工場を新設	1977 インシュレーションボード事業の拡張 高萩工場を新設 1984 内装工事会社 ダイケンエンジニアリング(株)を設立 1987 床材事業の拡張 三重ダイケン(株)(現 三重工場)を設立 1989 ●井波工場でドア・階段など住機製品の生産開始 ●高萩工場で外装材の生産開始 1994 マレーシアMDF製造会社 DAIKEN SARAWAK SDN.BHD.設立 1995 井波工場に内装ドア生産ラインを建設	1996 岡山工場に「畳おもて」および「ダイライト」生産ラインを設置 1999 内装工事会社 鉦工業(株)をグループ化 2000 内装工事部門を ダイケンエンジニアリング(株)に統合 2002 ●TOTO(株)、YKK AP(株)とリモデル分野で提携 ●大建工業(寧波)有限公司を設立 2005 マレーシアMDF製造会社をグループ化 DAIKEN MIRI SDN.BHD.発足 2009 ●ニュージーランドMDF工場をグループ化 DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED 設立 ●名古屋工場の床材事業を三重工場に集約	2010 ●パナソニック(株)と生産・調達面で業務提携 ●内装工事会社 三惠(株)をグループ化 2012 ホクシン(株)とMDF生産・供給面で業務・資本提携 2015 インドネシア内装ドア製造会社 PT.DAIKEN DHARMA INDONESIA 設立 2016 マンシヨリノバージョン(株)バックシステムをグループ化 2018 ●ニュージーランドMDF製造会社をグループ化 DAIKEN SOUTHLAND LIMITED 発足 ●DAIKEN R&Dセンターを開設 ●伊藤忠商事(株)と資本業務提携 2019 ●カナダの単板工場CIPA Lumber Co. Ltd.、米国のLVL工場PACIFIC WOODTECH CORPORATIONをグループ化 ●リフォーム会社 株式会社リホームキューをグループ化 ●無垢床材事業を手掛ける株式会社フローリングをグループ化 2020 LVL用単板加工会社 日南大建(株)にて生産開始

大建工業グループの価値創造

価値創造の戦略

価値創造を支える基盤

データ編